

2018（平成30）年度苫小牧市エネルギー消費量

令和4年2月
環境衛生部環境保全課

2018（平成30）年3月に策定した「苫小牧市第3次環境基本計画」では、市内のエネルギー消費量における削減目標を掲げており、毎年、その進捗状況を公表することとしています。

2018（平成30）年度のエネルギー消費量は以下のとおりです。

なお、二酸化炭素排出量については当報告書に参考値として記述しています。

1 エネルギー消費量について

市内エネルギー消費量は51,616TJで、基準年比10.0%の減少（前年度比2.8%の減少）となりました。

部門別では、産業部門で基準年度比10.6%の減少（前年度比3.1%の減少）、業務部門で同19.7%の減少（前年度比3.8%の増加）、家庭部門で同0.6%の減少（前年度比6.0%の減少）、運輸部門で同5.3%の減少（前年度比1.1%の減少）、廃棄物部門で同2.5%の減少（前年度比20.6%の増加）となりました。

エネルギー消費量合計が基準年度比において減少した要因は、苫小牧市のエネルギー消費量構成の約8割を占める産業部門のエネルギー消費量が大きく作用していることが挙げられます。前年度比では、業務部門、廃棄物部門においてエネルギー消費量が増加したものの、部門全体として、省エネに向けた取組が進んでおります。

表1 エネルギー消費状況

（単位：TJ）

| | 2013 (基準年度) | 2017 | 2018 | 削減率 | |
|-------|----------------|--------|--------|--------|-------|
| | | | | 基準年度比 | 前年度比 |
| 合計 | 57,356 | 53,109 | 51,616 | -10.0% | -2.8% |
| 産業部門 | 46,333 | 42,738 | 41,404 | -10.6% | -3.1% |
| 業務部門 | 3,126 | 2,419 | 2,511 | -19.7% | 3.8% |
| 家庭部門 | 4,488 | 4,748 | 4,461 | -0.6% | -6.0% |
| 運輸部門 | 3,008 | 2,880 | 2,848 | -5.3% | -1.1% |
| 廃棄物部門 | 402 | 325 | 392 | -2.5% | 20.6% |

※ 消費量は、各種統計データを基に算定していますが、公開時期の関係で、一部のデータは推計値等を使用しています。今後、各種統計データの修正、算定方法の見直し等があった場合は、消費量は変更されることがあります。

※ 端数処理の関係から、実際の計算と一致しない場合があります。

図1 エネルギー消費量の構成割合

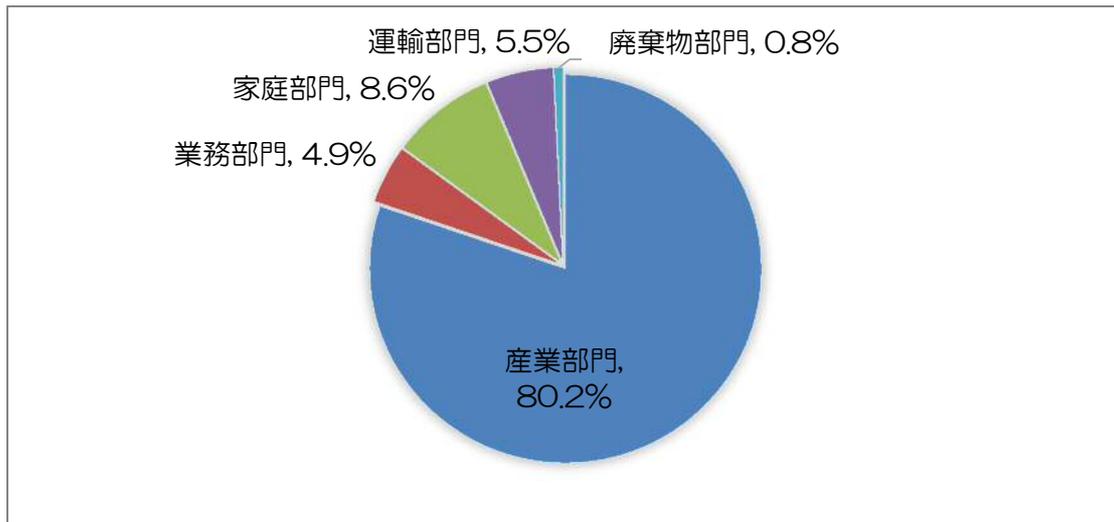


図2 エネルギー消費量の推移

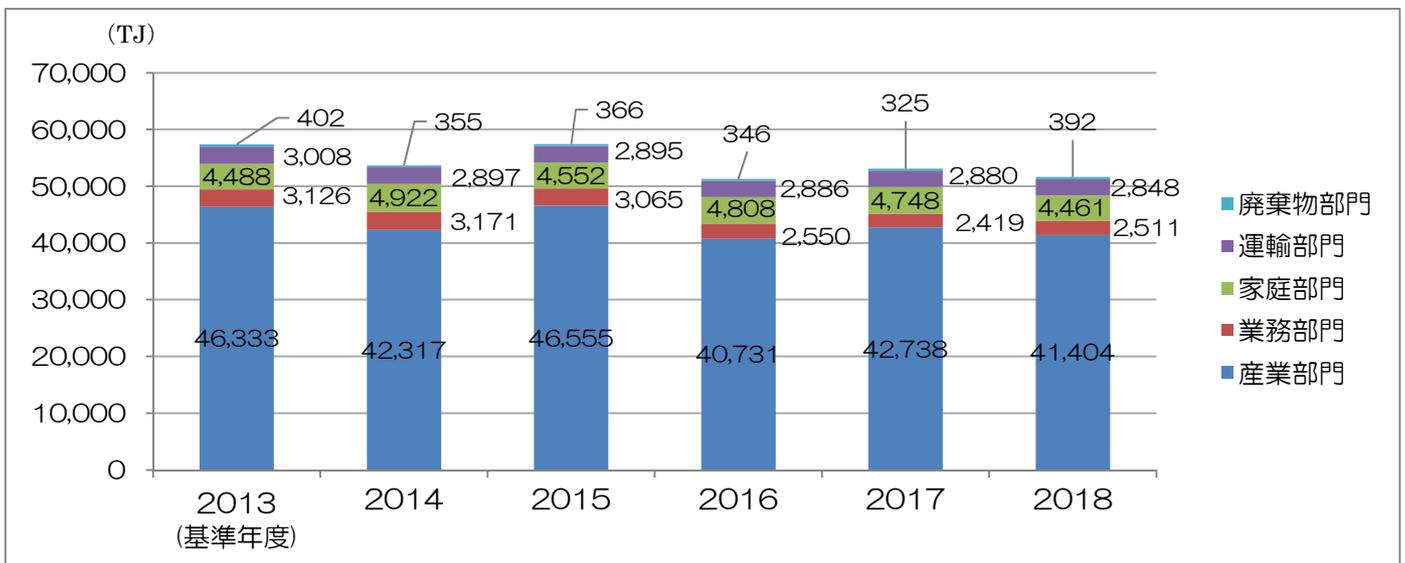
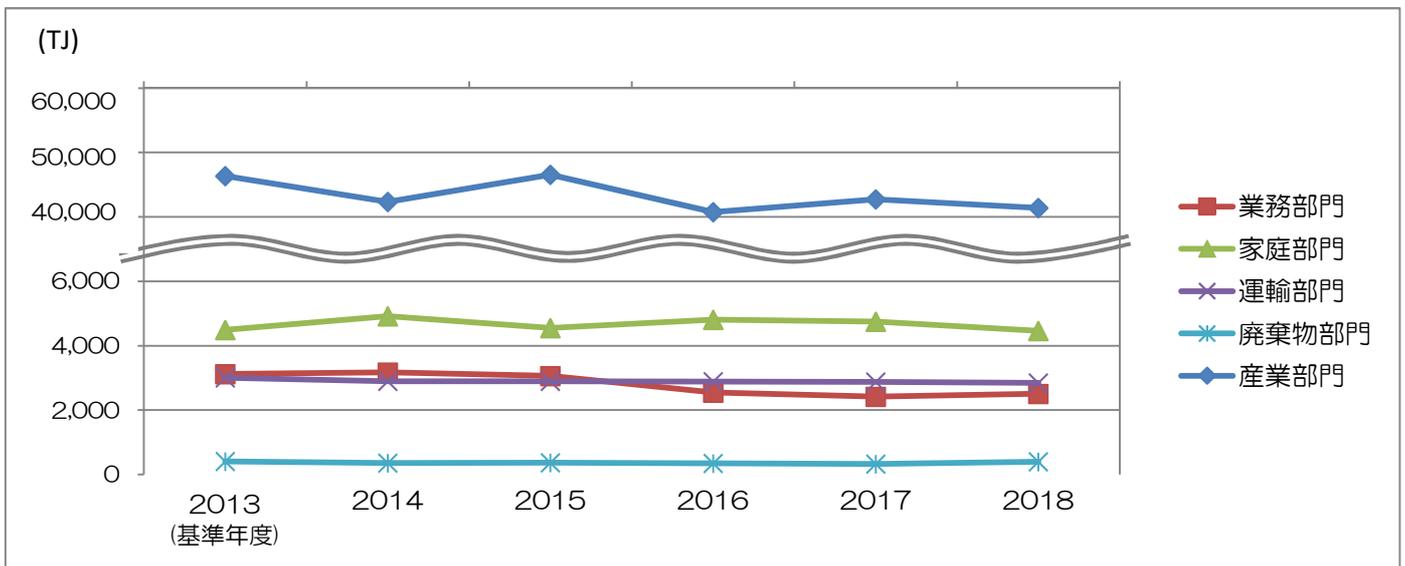


図3 エネルギー消費量の推移 (部門別)



2 目標の進捗状況

第3次環境基本計画では、中間目標（2020年度）と最終目標（2025年度）を設け、エネルギー消費量の削減を図っています。本市エネルギー消費量の8割を占める産業部門の削減率が著しく、合計では最終目標を上回る削減率を示しています。

部門別では、家庭部門・運輸部門・廃棄物部門においては、基準年度比は減少していますが、中間目標は達成できておりません。

表2 エネルギー消費量の削減目標と進捗状況

(単位：TJ)

| | 2013 (基準年度) | 目標(基準年度比削減率) | | 2018 (基準年度比) |
|-------|----------------|--------------|--------|-----------------|
| | | 2020 | 2025 | |
| 合計 | 57,356 | -4.2% | -7.0% | -10.0% |
| 産業部門 | 46,333 | -3.5% | -5.9% | -10.6% |
| 業務部門 | 3,126 | -2.7% | -4.5% | -19.7% |
| 家庭部門 | 4,488 | -5.8% | -9.9% | -0.6% |
| 運輸部門 | 3,008 | -12.4% | -21.2% | -5.3% |
| 廃棄物部門 | 402 | -17.9% | -21.4% | -2.5% |

※端数処理の関係から、実際の計算と一致しない場合があります。

3 二酸化炭素排出量について(参考値)

市内の二酸化炭素排出量は4,074千t-CO₂となり、基準年度比10.2%の減少(前年度比2.4%の減少)となりました。

部門別では、産業部門で同10.3%の減少(前年度比2.2%の減少)、業務部門で同16.6%の減少(前年度比0.2%の増加)、家庭部門で同7.3%の減少(前年度比6.6%の減少)、運輸部門で同5.3%の減少(前年度比1.1%の減少)、廃棄物部門で同2%の増加(前年度比23.9%の増加)となりました。

表3 各年度の二酸化炭素排出量

(単位：千t-CO₂)

| | 2013 (基準値) | 2017 | 2018 | 削減率 | |
|-------|---------------|-------|-------|--------|-------|
| | | | | 基準年比 | 前年比 |
| 合計 | 4,537 | 4,173 | 4,074 | -10.2% | -2.4% |
| 産業部門 | 3,477 | 3,191 | 3,120 | -10.3% | -2.2% |
| 業務部門 | 374 | 311 | 311 | -16.6% | 0.2% |
| 家庭部門 | 462 | 459 | 429 | -7.3% | -6.6% |
| 運輸部門 | 206 | 197 | 195 | -5.3% | -1.1% |
| 廃棄物部門 | 18 | 15 | 18 | 2.0% | 23.9% |

※端数処理の関係から、実際の計算と一致しない場合があります。